

第 4 章 個別施設計画

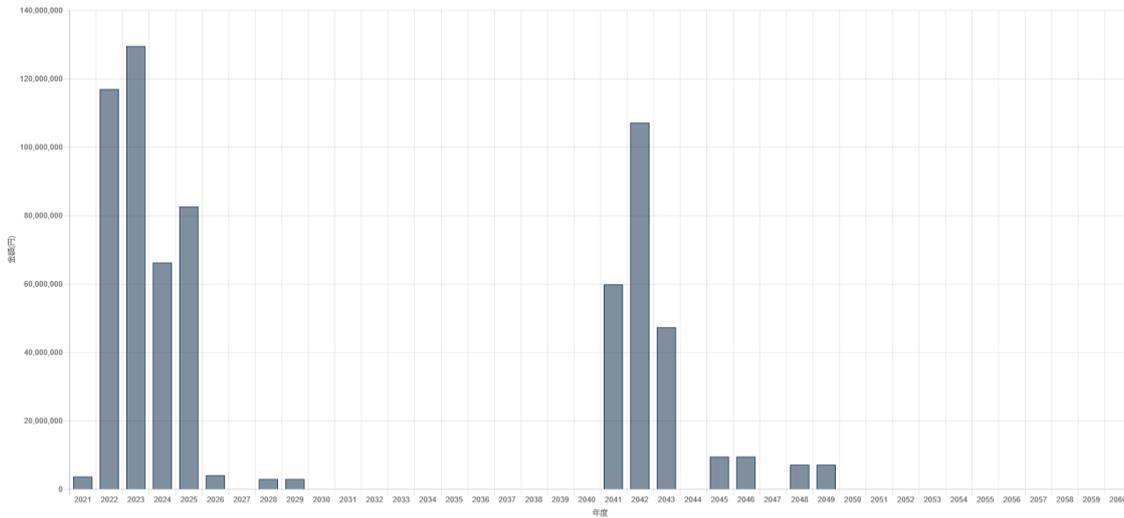
その他

その他

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
その他	葬斎場	1	1,138.22 m ²
	教員住宅	6	1,060.00 m ²
	共同作業所	9	1,827.14 m ²
	その他	1	65.52 m ²
合 計		17	4,090.88 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 **6.6億円** / 1年あたり **0.2億円**



その他

No.	施設名称
1	葬斎場
2	福井南小教員住宅
3	椿泊小教員住宅
4	大井小教員住宅
5	那賀川教員住宅
6	蒲生田小教員住宅
7	伊島小中教員住宅
8	土井共同作業場
9	長岡東共同作業場
10	住吉共同作業場
11	大野共同作業場
12	大京原養まん飼料共同作業場
13	黒地共同作業所
14	大京原共同作業場
15	郡共同作業場
16	大京原しめ縄共同作業場
17	北の脇公衆便所

1 施設の基本情報

施設名称	葬斎場		
所在地	富岡町西池田51-3		
施設分類	その他	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	1,138.22 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	定住自立圏の火葬場として稼働している。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
葬斎場	1,049.85 m ²	RC造	S57.8	新耐震基準
葬斎場(増築部)	88.37 m ²	RC造	H18.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	電気系統の劣化などが見受けられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適宜改修等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井南小教員住宅		
所在地	福井町日ノ地119-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	181.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員ための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井南小教員住宅	75.00 m ²	木造	S51.3	旧耐震基準
福井南小教員住宅	106.00 m ²	RC造	S61.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿泊小教員住宅		
所在地	椿泊町東		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	81.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿泊小教員住宅	81.00 m ²	木造	S53.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大井小教員住宅		
所在地	大井町中筋24		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	68.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大井小教員住宅	68.00 m ²	木造	S53.10	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川教員住宅		
所在地	那賀川町苅屋399-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	344.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川教員住宅	200.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準
那賀川教員住宅	144.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	除施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	蒲生田小教員住宅		
所在地	椿町蒲生田		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	54.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

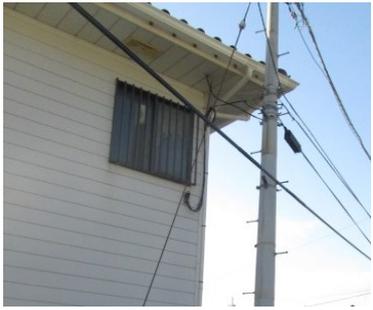
2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
蒲生田小教員住宅	54.00 m ²	木造	S56.2	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	伊島小中教員住宅		
所在地	伊島町瀬戸28-4-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	332.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島小中教員住宅	332.00 m ²	木造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり修繕や改修が必要である。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設利用者がいるため、適切に維持管理を行い施設を継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	土井共同作業場		
所在地	新野町西馬場26-6		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	99.17 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	資材倉庫として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
土井共同作業場	99.17 m ²	S造	S42.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡東共同作業場		
所在地	横見町長岡東15-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	372.71 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡東共同作業場	372.71 m ²	S造	S54.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	住吉共同作業場		
所在地	住吉町須サキ258-2		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
住吉共同作業場	120.00 m ²	S造	S55.8	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野共同作業場		
所在地	中大野町南傍示16-4		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	368.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野共同作業場	368.00 m ²	S造	S55.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原養まん飼料共同作業場		
所在地	那賀川町大京原1004-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	115.02 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原養まん飼料共同作業場	115.02 m ²	S造	S58.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒地共同作業所		
所在地	那賀川町黒地642-3		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	464.07 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地共同作業所	464.07 m ²	S造	S60.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原共同作業場		
所在地	那賀川町大京原1065-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	102.21 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原共同作業場	102.21 m ²	S造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	郡共同作業場		
所在地	宝田町郡31-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	57.96 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場として建設された		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
郡共同作業場	57.96 m ²	軽量鉄骨造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原しめ縄共同作業場		
所在地	那賀川町大京原779-2		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	128.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場として建設された		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原しめ縄共同作業場	128.00 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	北の脇公衆便所		
所在地	中林町原23-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	65.52 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	北の脇海岸にある複合施設(トイレ・更衣室・シャワーデッキ)		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
北の脇公衆便所	65.52 m ²	RC造	不明	新耐震基準・H19改修工事

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	海沿いにあるため傷みが早く、修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	北の脇海岸(海水浴場)利用者のための必要不可欠なトイレ等であり、今後も修繕を行いながら、施設の維持管理を行う。
計画期間	第2期計画期間